

「いたみをめぐって」 教皇庁児童保護会議関連文書を読む

10月から12月にかけて、教皇庁児童保護会議関連文書を手がかりにして、教皇フランシスコによる児童虐待問題への取り組みをふりかえるとともに、何よりも私たちがキリストの志を引き継ぐ歩みをつづけることができるように、決意を新たにいたしましょう。つまり教皇の望みを理解することによって、「キリスト者として生きる意味」を確認することが出来れば幸いです。

10/22, 11/19, 12/17 (木曜日 15:30-17:00)

講師: 阿部仲麻呂 (上智大学大学院・日本カトリック神学院兼任講師)

テキスト: 当日に配布します。

予定:

- ①10/22 「Ⅰ. 苦しみをこうむった人」
- ②11/19 「Ⅱ. 相手を理解しなかった人」
- ③12/17 「Ⅲ. コミュニティー全体として」



講師 阿部仲麻呂

世界中のカトリック司教協議会の会長が一同に集まった教皇庁児童保護会議は教皇フランシスコによる呼びかけにもとづいて2019年2月に開催されました。世界中のカトリック司教や司祭や信徒による児童虐待問題を真摯に受け留め、被害をこうむった方々の声に耳を傾ける努力をつづける決意を新たにされた会議でした。今回は三回の講座をとおして、関連文書を一緒に読みながら、特に「神の前での人間の生き方に焦点を当てる」という意味で「神学的な視点」での考察を試みたいとおもいます。

お申込み・お問合せ 一般財団法人真生会館

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 33 番地 4 Tel: (03) - 3351 - 7121 Fax: (03) - 3358 - 9700
E-mail: gakushu@catholic-shinseikaikan.or.jp URL: http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp

○「いたみをめぐって」 申し込み 各回 1,000 円、学生は無料

受講: 全回 (希望日に○) 10/22, 11/19, 12/17

お名前: _____

ご住所: 〒 _____

緊急連絡先: TEL _____ E-MAIL _____

